

## 第 691 回 例 会

28年9月16日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「それこそロータリー」
- ・卓話 大屋 準一 会員  
「雑学のススメ『トランプ』」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 次回(9月23日)のプログラム

- ・ソング 「それこそロータリー」
- ・卓話 菊 泰仁 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 先週(9月9日)の例会報告

## ■会長の時間

皆さんこんにちは、本日まずは新しくできあがった「クラブの目標」旗を紹介したいと思います。秋山会員よりご寄贈いただきました。すでに使っているロータリーソング旗もご寄贈頂いたということですので重ね重ねお礼申し上げます。本当にありがとうございます。また本日より新入会員の馬場さんをお迎えしました。後ほどご挨拶いただきますが末永くお付き合いをよろしくお願いいたします。

さて本日は前回に引き続き「ロータリーの豆知識」第2弾として「四つのテスト」について紹介します。

この四つのテスト「The Four-Way Test」はもともと1932年にハーバート・テイラーが破産の危機に陥っている会社を救うために、その社員の育成指針として全従業員が使える倫理上の尺度として作られました。この会社はその後見事に立ち直り成長したわけですが、1939年にハーバート・テイラーが商工会議所でその話をされた際に、シカゴクラブのロータリアンが聞き、ロータリーに紹介され、その後あまりにも素晴らしいので全ロータリアンの職業奉仕の指針にしたいという声上がり、1943年RI理事会で採択されました。その後1954年、ハーバート・テイラーがRI会長の際に版權がロータリーに寄付されたとのことです。

ハーバート・テイラーが唱えた四つのテストの原文は以下の通りです。本来は取引上の指針だという前提で、あらためて原文を理解しておきたいと思います。

The Four-Way Test 四つのテスト

Of the things we think, say or do 言行はこれに照らしてから

- 1) Is it the TRUTH? 真実かどうか?
- 2) Is it FAIR to all concerned? みんなに公平か?
- 3) Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP? 好意と友情を深めるか?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned? みんなのためになるかどうか?

なお現在使われている日本語訳は、1954年に「簡潔で分かりやすいもの、疑問体のもの、反語を避けて誓言的でないもの、ロータリー以外の人々、特に若い人にも難解でないもの」との条件で全国のクラブに募集し、応募された案の中から定められたものだそうです。(参考図書:ロータリー情報マニュアル、2660地区ロータリー百科事典)

【来客紹介】 1名

【出席報告】

28年9月9日(第690回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
35名	1名	25名	9名	73.53%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1)ロータリーの友(9月号)
- 2)ガバナー補佐訪問 第1回クラブ協議会ご出席のお願い
- 3)第29回公式クラブコンペ開催のご案内(参加者のみ)

[メール送信]

- 1)ガバナー月信(9月号) ⇒ 9/5 配信

[回覧資料]

- 1)米山梅吉記念館 館法(2016秋)
- 2)大阪交通災害遺族会「パンジーだより」

## ニコニコ箱(9月9日)

川上 大雄 =本日卓話。よろしくお願いいたします。

河田 英子 =今日は9 9(キュウキュウ)の日! 元気で過ごしたいです!

森本 良嗣 =季節も変わって来たようで大分涼しくなりましたですネ。 ホテルも3階全体が改装されて綺麗になりました。

川上様、詳しく卓話よろしくお願ひします。

中井 周治 =休みが続き久し振りに例会に参加いたします。 みなさんのお元氣な顔に会えてうれしいです。

大屋 準一 =川上さん、卓話頑張ってください。

来週は卓話当番ですので、参考にさせていただきます。 でも氣が重い一週間になりそうです。

高野 幸雄 =川上さん、卓話楽しみにしています。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 6000円	今年度合計 3953015円
---------	-------	-----------	----------------

## 卓話(9月9日)

「詳しく自己紹介ある意味自画自賛」 川上 大雄 会員

川上大雄 1957年昭和32年11月11日生まれ(さそり座)

私は大阪厚生年金病院(現大阪病院)で生誕。

会社がまだまだ小さく、母も駆り出されていたため幼稚園の頃より、祖母に預けられる。

祖母は非常に厳しく、一般的な甘やかしてくれる環境ではなかった。 まだまだ、乳離れをしている歳ではなく、祖母から与えられた五十音のスタンプで母に手紙を書いていた。

なぜ、周りの子供は親元から学校に通うのに、自分だけ祖母に預けられ、祖母の家から学校に行くのか？

そうだ、自分には他の子供とは違う何かが課せられているのだと変に自覚する。

その頃、自分を支えていたものは読書である。 あらゆる本を読みあさっていた。

小学校4年、5年で転校するまで、テストで100点しか取ったことがない。

子供の遊びであるべったん、ビー玉は不良がするもので、してはいけないものだと思っていた。 先生からは優等生のレッテルを貼られ、授業前にドリルの答え合わせをするのが、日課であった。

運動はまったくしない。 当然、体育は2の評価であった。

しかし、小学校5年になる時、家業も順調になり、現在本社のあるところに4階建てのビルを建て、その中に居を構えることになり、転校した。 転校した学校は野田小学校、この学校はその当時、大半が中央市場の子弟(悪ガキ)が通っていた。

それまでとは明らかに環境というより文化が違った。

その当時の中央市場は景氣もよく、親の仕事は午前中で終わり、午後はギャンブルの世界。

その子供もいつのまにか、おいちよかぶ、テンチロリンを覚え、賭け事に明け暮れる日々が始まる。

当然の如く学校の成績は急降下、母もビックリ、何が起こったのか解らなかつたと思う。

この続きは卓話の時間で詳しく！

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 眞実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか